

日本周産期・新生児医学会 第35回周産期学シンポジウムの開催のご案内

(2016年7月4日現在)

テーマ：周産期医療における「遺伝」を考える

会長：光田 信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

会期：2017（平成29）年2月10日（金），11日（土：祝日）

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（グランフロント大阪）

2月10日（金）

【プレコンGRESS】16：00～18：30 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

「委員会報告」 16：00～16：30

周産期施設における遺伝診療の現状（周産期学シンポジウム運営委員会と倫理委員会による共同調査から）

座長：板倉 敦夫（順天堂大学医学部附属順天堂医院産科）

演者：和田 和子（大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター）

「教育講演」 16：30～17：30

NIPTの遺伝カウンセリングにおける課題と展望（倫理講習）

座長：左合 治彦（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）

演者：四元 淳子（お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系）

「会長指定講演」 17：30～18：30

周産期から見つめ直す児童虐待- 愛着形成障害の視点から

座長：光田 信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

演者：友田 明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

【懇親会】18：45～20：00 会場：世界のビール博物館（グランフロント大阪）

2月11日（土）

9：00～16：20 周産期学シンポジウム：周産期医療における「遺伝」を考える

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

【午前の部】9：00～12：00 18トリソミーを考える

座長：米田 徳子（富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科）

臼井 規朗（大阪府立母子保健総合医療センター小児外科）

1. [委員会報告] 18トリソミー児に対する診療と意識～遺伝医療に関する全国調査より～

（周産期学シンポジウム運営委員会と倫理委員会による共同研究事業）

板倉 敦夫（順天堂大学医学部附属順天堂医院産科）

2. 18トリソミー症例の周産期管理と児の転機

望月 純子（北里大学医学部産科）

3. 出生前診断された18トリソミー症例の検討～Supportive Careで母児のQOLは上昇するのか～

長瀬 寛美（神奈川県立こども医療センター産婦人科）

4. 18トリソミー児の生存退院に関与する因子についての検討～多施設共同研究による後方視的検討～
加藤 英子（公立陶生病院小児科）
5. 13, 18, 21トリソミー患児に対する外科的治療症例の検討
井深 奏司（大阪府立母子保健総合医療センター小児外科）

【ランチョンセミナー】 12：10～13：10 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

1. 胎児診断における 3D 超音波画像の撮り方のコツと有用性 第一会場（ホールA+b1）
座長：澤井 英明（兵庫医科大学 産科婦人科学）
演者：市塚 清健（昭和大学横浜市北部病院 産婦人科）
2. 新生児 乳児の感染予防～最新の話～ 第二会場（ルーム 1+2）
座長：和田 和子（大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター）
演者：森 雅亮（東京医科歯科大学大学院生涯免疫難病学講座）

【午後の部】 13：20～16：20 遺伝学的出生前診断を考える

- 座長：村越 毅（聖隷浜松病院産婦人科・総合周産期母子医療センター）
長 和俊（北海道大学病院周産母子センター）
6. NIPTにおける fetal fraction についての検討～cfDNA 解析結果と臨床データの照合解析
鈴森 伸宏（名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科・臨床遺伝医療部）
 7. 希少遺伝性難病の出生前診断の現状
池田 真理子（神戸大学医学部小児科）
 8. 単一遺伝子疾患に対する着床前診断における倫理・技術・成績における問題とその対策
中林 章（慶應義塾大学医学部産婦人科）
 9. 出生前遺伝学的検査における心理社会的要因の調査
白土 なほ子（昭和大学医学部産婦人科学講座）
 10. [関連演題] 遺伝カウンセリング・胎児診断に特化した施設の運営経験から見てきたこと
中村 靖（FMC 東京クリニック）

シンポジウム参加費：

医師 : 12,000 円

医師以外 : 6,000 円

学生（医師以外） : 無料

なお、事前登録は行いません。当日、会場での参加受付（現金での集金のみ）となります。

懇親会参加費：無料

事務局（連絡先）： 運営事務局：株式会社日本旅行 西日本 MICE 営業部
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル 5 階
TEL 06-6342-0212 FAX 06-6342-0214
E-mail : sympo35@nta.co.jp

日本周産期・新生児医学会 第35回周産期学シンポジウム

Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine

会期 2017年2月10日(金)～11日(土・祝)

会場 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
(グランフロント大阪内 JR大阪駅北口直結)



<http://www.congre-cc.jp/>

会長 光田 信明

(大阪府立母子保健総合医療センター産科)

周産期医療における 「遺伝」を考える

2月10日(金)【プレングレス】

「委員会報告」16:00～16:30

周産期施設における遺伝診療の現状

(周産期学シンポジウム運営委員会と倫理委員会による共同調査から)

座長:板倉 敦夫(順天堂大学医学部附属順天堂医院産科)

演者:和田 和子(大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

「教育講演」16:30～17:30

NIPTの遺伝カウンセリングにおける課題と展望(倫理講習)

座長:左合 治彦(国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター)

演者:四元 淳子(お茶の女子大学基幹研究院自然科学系)

「会長指定講演」17:30～18:30

周産期から見つめ直す児童虐待—愛着形成障害の視点から

座長:光田 信明(大阪府立母子保健総合医療センター産科)

演者:友田 明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)

【懇親会】18:45～20:00

会場:世界のビール博物館(グランフロント大阪内)

2月11日(土・祝) 周産期学シンポジウム:周産期医療における「遺伝」を考える

【午前の部】9:00～12:00

「18トリソミーを考える」

座長:米田 徳子(富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科)

臼井 規朗(大阪府立母子保健総合医療センター小児外科)

1. [委員会報告]18トリソミー児に対する診療と意識

～遺伝医療に関する全国調査より～

(周産期学シンポジウム運営委員会と倫理委員会による共同研究事業)

板倉 敦夫(順天堂大学医学部附属順天堂医院産科)

2. 18トリソミー症例の周産期管理と児の転機

望月 純子(北里大学医学部産科)

3. 出生前診断された18トリソミー症例の検討

～Supportive Careで母児のQOLは上昇するのか～

長瀬 寛美(神奈川県立こども医療センター産婦人科)

4. 18トリソミー児の生存退院に関する因子についての検討

～多施設共同研究による後方視的検討～

加藤 英子(公立陶生病院小児科)

5. 13、18、21トリソミー患児に対する外科的治療症例の検討

井深 奏司(大阪府立母子保健総合医療センター小児外科)

【ランチョンセミナー】12:10～13:10

1. 胎児診断における3D超音波画像の撮り方のコツと有用性

座長:澤井 英明(兵庫医科大学産科婦人科学)

演者:市塚 清健(昭和大学横浜市北部病院産婦人科)

2. 新生児 乳児の感染予防～最新の話～

座長:和田 和子(大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

演者:森 雅亮(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯免疫疫学講座)

【午後の部】13:20～16:20

「遺伝学的出生前診断を考える」

座長:村越 毅(聖隷浜松病院産婦人科・総合周産期母子医療センター)

長 和俊(北海道大学病院周産母子センター)

6. NIPTにおけるfetal fractionについての検討

～cfDNA解析結果と臨床データの照合解析

鈴木 伸宏(名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科・臨床遺伝医療部)

7. 希少遺伝性難病の出生前診断の現状

池田 真理子(神戸大学医学部小児科)

8. 単一遺伝子疾患に対する着床前診断における

倫理・技術・成績における問題とその対策

中林 章(慶應義塾大学医学部産婦人科)

9. 出生前遺伝学的検査における心理社会的要因の調査

白土 なほ子(昭和大学医学部産婦人科学講座)

10. [関連演題]遺伝カウンセリング・胎児診断に特化した

施設の運営経験から見てきたこと

中村 靖(FMC東京クリニック)

周辺宿泊施設の混雑が予想されます。

ご予約は参加者の皆様ご自身にてお早めにお済ませください。